

「手話言語をブルーライトで輝かせよう」 市民・地域・社会をひとつにチャレンジプロジェクト 2025

趣旨

毎年 9 月23日に行われる手話言語の国際デーは、2017 年12 月19 日に国連総会で決議され、今年で 8 年目になります。決議文では、「手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国すべてにおいて手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進する」とされています。毎年テーマが決められており、2025 年は「手話言語権は人権だ！（英語原文：No Human Rights Without Sign Language Rights）」です。



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES

手話言語の国際デーのロゴ

世界ろう連盟(World Federation of the Deaf:WFD)は 9 月 23 日に手話言語に関するイベントを 2018 年から開催してきました。このイベントに加えて 2022 年から、国連や世界ろう連盟のロゴの色で、「世界平和」を表す青色(#007EC4)を世界各地でライトアップを呼びかけました。このイベントやブルーライトアップは世界、市民、地域社会が SNS でつながり、**各国の手話言語を尊重しあい、世界中のきこえない・きこえにくい人ときこえる人がひとつになる瞬間**です。

2024 年は、47 都道府県 371 自治体 513 箇所にてブルーライトアップを行いました。

全日本ろうあ連盟では、今年も「手話言語をブルーライトで輝かせよう」市民・地域・社会をひとつにチャレンジプロジェクト 2025 を行います。

2006 年に国連で採択された障害者権利条約にて「言語に手話が含まれる」ことが明記されたのをきっかけに、全日本ろうあ連盟は 2010 年より「手話言語法」制定を求める取り組みを続けており、その成果が「手話施策推進法(仮)」として実ろうとしています。

私たちろう者にとって生活のあらゆる場面で、手話言語によるコミュニケーションや情報提供が保障されることは、きこえる人とともに暮らせる「共生社会」の一步となります。

全国の自治体や民間企業・団体等の皆さま、是非このプロジェクトに賛同いただき、「手話が言語である」ことへの認知を広めることにご協力ください。

チャレンジプロジェクトの推進について

きこえる人ときこえない・きこえにくい人がともに暮らせて、人権と平等が守られた共生社会を求め、全国各地の名所や施設を同時にライトアップすることで、大きなインパクトを人々に与え、手話は言語であるという認識を広めていきたいと考えています。

連盟の加盟団体(全国 47 協会)の他にも、関係団体である「手話を広める知事の会(全都道府県知事が入会)」、「全国手話言語市区長会(648 市区長、18 町村長が入会)」からも、昨年に続き積極的なご協力をいただいています。

連盟のホームページには、「プロジェクト公式ページ」を設置し、賛同いただける自治体や民間等からのプロジェクト参加を順次公表していきます。

ライトアップについて

ライトアップの日時や基準は以下の通りとします。

- 日時 2025 年 9 月 23 日(火・祝) 日没 15 分後～
終了時刻はその施設等の規定による
- ライトアップ色 青色（原則として **#007EC4**、若しくはこの色に近いものとする）
- 点灯間隔 原則として常時点灯とする

※ライトアップに係る費用等はその自治体や民間等の負担での取り組みをお願いしております。ご理解いただけますようお願い申し上げます。

賛同を示す周知方法について

賛同いただき、ライトアップをされた場合、SNS 等での周知にご協力ください。

- 別途案内します申請フォームにて、ライトアップを行う施設等の情報を 2025 年 7 月 31 日までにお寄せください。いただいた情報はプロジェクト公式ページに掲載します。
- ライトアップされた写真や動画を、2025 年 9 月以降に案内を予定している「入力フォーム」にてぜひ国際委員会までご提供ください。なお、ご提供いただいた写真や動画はプロジェクト公式ページや連盟の広報媒体、書籍等に掲載することがあります。
- SNS へアップいただく際には、ハッシュタグとタグ付けをお願いいたします。

ハッシュタグ:「#IDSL」「#BlueLight」「#手話言語に光を」

タグ付け:  @official i jfd



- 問い合わせ先 一般財団法人全日本ろうあ連盟 国際委員会
Mail jfd-km@jfd.or.jp
TEL 03-6302-1430 FAX 03-6302-1449

手話言語の国際デー (International Day of Sign Language)

毎年、9月23日は「手話言語の国際デー」です。手話言語の国際デーは、2017年12月19日に国連総会で決議されました。決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国社会全体で手話言語についての意識高める手段を講じることを促進するとされています。また、9月23日は1951年に世界ろう連盟(World Federation of the Deaf:WFD)が設立された日です。

毎年、テーマが決められており、2025年のテーマは「手話言語権は人権だ！(英語原文:No Human Rights Without Sign Language Rights)」です。

また2022年より、WFDから働きかけで、世界各地で、WFDのロゴの色である「世界平和」を表す青色(原則として#007EC4)にライトアップを行っています。連盟としても毎年、全国各地で青色にライトアップを働きかけるとともに、「手話言語の国際デー」の記念イベントを実施しています。2024年は、47都道府県371自治体513箇所にてブルーライトアップを行いました。



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES

国際ろう者週間 (International Week of Deaf People)

「国際ろう者週間」はWFD主導のもと、1958年9月にイタリアのローマで始まりました。WFDの最初の世界会議が開催された月を記念して、9月の最後の1週間(月曜日から日曜日まで)を「国際ろう者週間」としています。

毎年、世界中のろう者の家族・手話言語通訳者・仲間たちなどを含む、ろうコミュニティでは、各国の政府や行政をはじめ市民に向けたアピールに取り組むとともに、さまざまな関係者が関わっていくことを歓迎しています。

また、この国際ろう者週間では毎年、1日ごとに異なるテーマを定めています。詳しくはプロジェクト公式ページをご覧ください。



INTERNATIONAL WEEK
OF DEAF PEOPLE

●問い合わせ先 一般財団法人全日本ろうあ連盟 国際委員会

Mail jfd-km@jfd.or.jp

TEL 03-6302-1430 FAX 03-6302-1449